

三条商工会議所
会員企業 様

三条市内の物流2024年問題に対する一方策

～新潟港コンテナ航路利用のご提案～

新潟県庁交通政策局
港湾振興課

目次

01 現状・課題

02 地方港活用への業界の反応

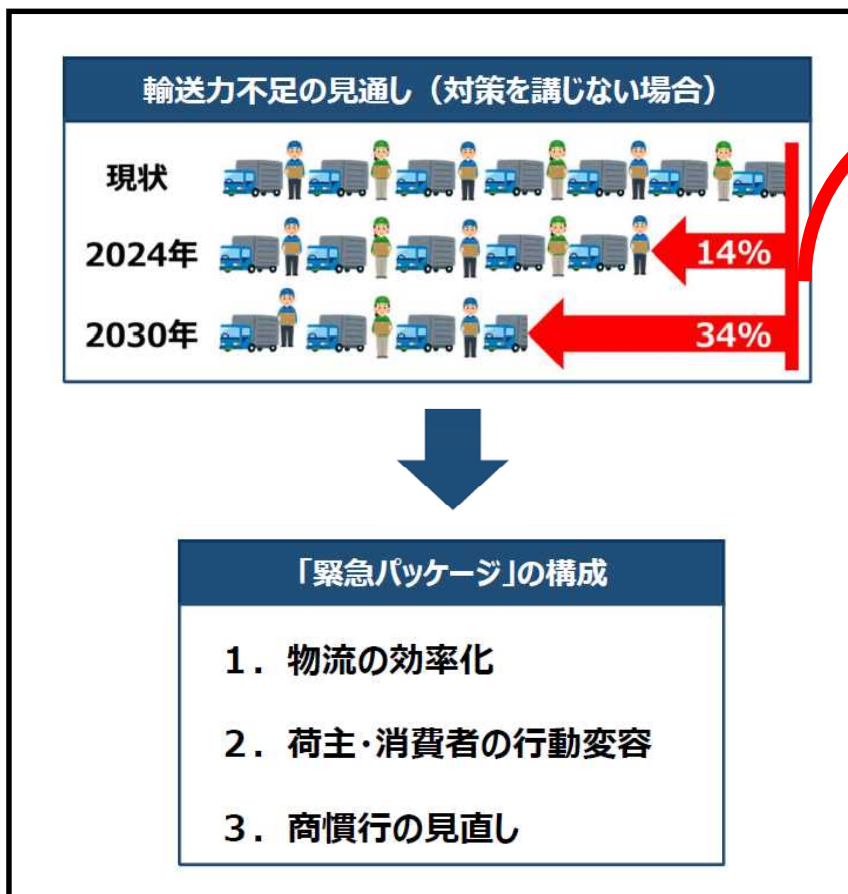
03 三条・燕圏域貨物の利用港割合

04 横浜港への輸送距離との比較

05 新潟港コンテナ航路の強み

1 現状・課題

物流革新緊急パッケージ
(令和5年10月6日付)



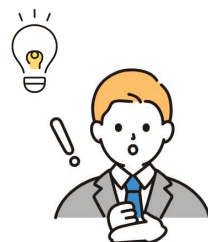
トラックドライバー不足の見通し



✗ トラックが確保できない恐れ

✗ 長距離が走れなくなる恐れ

輸出入をされている企業様にとって、
国際物流における対策としては、



✓ 輸送距離の短縮化

✓ 最寄港（新潟港）の更なる活用

2 地方港活用への業界の反応

01 02 03 04 05 ・NX日本通運



「長距離輸送をなくし、2024年問題を解決」

「日本国内地方港から釜山港経由で、海外諸国着というルートに変更」

出典：<https://www.nittsu.co.jp/v-site/93.html>

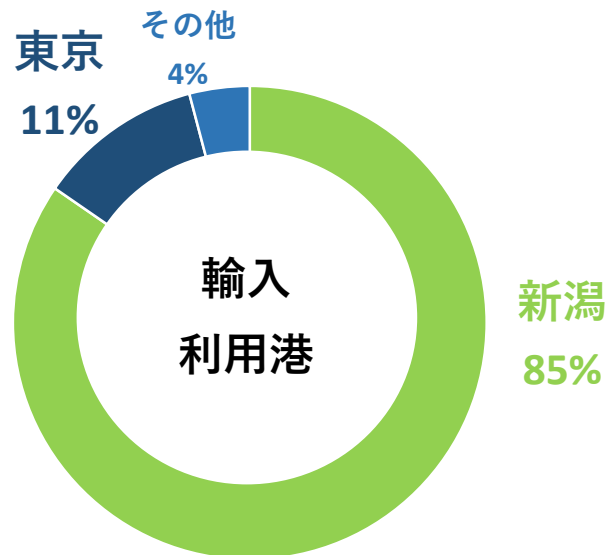
・三菱商事ロジスティクス



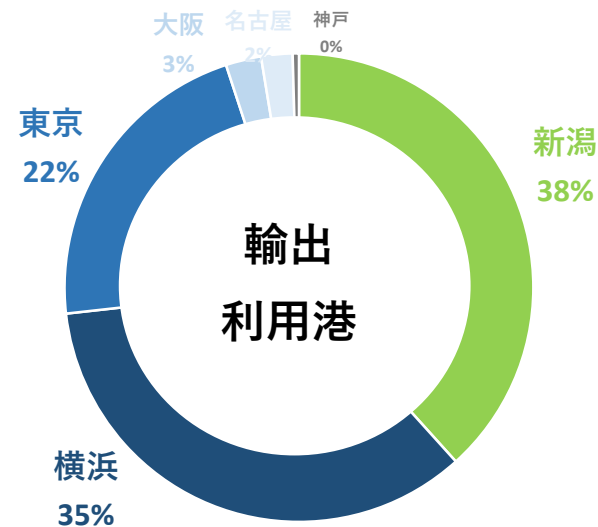
「地方港を活用した物流体制構築は、主要港を利用し陸路で中長距離に配送するといった従来の物流構造ではなし得なかった「トータル的なコストダウン」が期待できます」

出典：<https://www.mclogi.com/solution/localports>

3 三条・燕圏域貨物の利用港割合



輸入
新潟 85%
東京・その他 15%



輸出
京浜・阪神・名古屋ほか 62%
新潟 38%

出典：『平成30年度輸出入コンテナ貨物流動調査』（国土交通省H30.11月）



輸出は6割超が**主要港**を利用

4 横浜港への輸送距離との比較



※高速道路・有料道路利用なし



	新潟港	横浜港
往復	2時間40分	18時間
待ち時間	15分	1時間10分 (※)
合計	2時間55分	19時間10分



新潟港シフトで
輸送時間
85%削減

※横浜港各コンテナターミナルにおける海上コンテナ車両待機時間調査の結果
について（令和3年分）より

<https://www.kta.or.jp/pub/info/topics/post-761.html>

5 新潟港コンテナ航路の強み



外貿航路が週9便

→ 中国直行航路2便、釜山航路3便、中国・釜山航路4便)



内航フィーダー航路が週2便

→ 博多、門司、ひびき（北九州）、神戸で外貿航路（全世界へ）と接続

→ 国内港までの国内輸送も可能（トライアル補助金の対象）



本州日本海側最大の外貿コンテナ取扱量

→ スケジュールが乱れても抜港されにくい



県のインセンティブ

トライアル補助金：トライアル費用の半額補助（最大200万円）

利用拡大補助金：利用拡大分に応じた支援（最大900万円）



新潟県 新潟港 新潟空港 新潟空港

新潟港コンテナトライアル
推進事業のご案内

令和6年4月1日 令和7年3月31日

補助制度のガイド

- 1 トライアル費用を半額補助
- 2 通常100万円/最大200万円
- 3 内貨貨物も補助対象

新潟県 新潟港 新潟空港 新潟空港

新潟港コンテナ利用
拡大事業のご案内

令和6年4月1日 令和7年3月31日

補助制度のガイド

- 1 最大4万円/TEUを交付
- 2 最大3年間の継続補助
- 3 増加量に応じた加算

ご静聴ありがとうございました。



NIIGATA
PREFECTURE

＜新潟港コンテナ航路についてのお問い合わせ＞

新潟県庁 交通政策局 港湾振興課

TEL:025-280-5455(直通)

E-mail: ngt170010@pref.niigata.lg.jp